

令和3年8月19日

各位

格付の見通しの引上げについて

トモニホールディングス株式会社（本社：香川県高松市、社長：中村武）は、令和3年8月17日付で、株式会社日本格付研究所（JCR）から長期発行体格付「A-」（現状維持）を取得したうえで、格付の見通しについては、「安定的」から「ポジティブ」に引上げとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 格付の内容

- | | |
|-------------|------------------|
| (1) 長期発行体格付 | A-（シングルAマイナス） |
| 格付の見通し | ポジティブ（従来は「安定的」） |
| (2) 格付機関 | 株式会社日本格付研究所（JCR） |
| (3) 格付取得日 | 令和3年8月17日 |

2. 格付の見通しの引上げ事由

- (1) JCRでは、当社の格付の見通し引上げ事由を以下のとおりとしています。
- ①当社の格付には傘下の銀行子会社である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田径男）を中核とするグループ信用力を反映させており、グループの収益性はAレンジでトップ水準を維持していること。
 - ②徳島大正銀行及び香川銀行は地元のみならず大阪や東京で貸出を伸ばしていることなどから、当面も高い収益性を保つことが可能とみていること。
 - ③貸出資産は小口分散や保全が効いており、多額の与信費用を連続して計上する可能性は低いこと。
 - ④グループの自己資本はリスク量対比でみれば問題のない水準にあり、安定した最終利益の計上により着実に資本は厚みを増していくと考えられること。
- (2) JCRでは、格付の見通しを以下のとおり定義しています。
- ①格付の見通しは、発行体格付又は保険金支払能力格付が付与の後、1～2年の間にどの方向に動き得るかを示すもので、「ポジティブ」、「安定的」、「ネガティブ」、「不確定」及び「方向性複数」の5つからなる。
 - ②今後格上げの方向で見直される可能性が高ければ「ポジティブ」、今後格下げの方向で見直される可能性が高ければ「ネガティブ」、当面変更可能性が低ければ「安定的」となる。

3. 格付取得の目的

経営の健全性と透明性の確保に向けた積極的なディスクロージャーの一環として、株主、取引先、投資家の皆さまに当社グループの内容をより客観的にご理解いただくため、中立的な第三者機関による格付を取得しております。

今後ともグループ会社と連携して、経営体質の強化に取組み、高い外部評価の実現に努めてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部 TEL：087-812-0102